

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドット相立ててく4

国立市立国立第七小学校

平成28年4月14日 NO.5 (305)



ばくたち『校長先生と花いっぱい生き物いっぱい係』で一す。

オー君 「あれあれ？何かにやっていますね。」

花ちゃん 「この人たちは、『校長先生と花いっぱい生き物いっぱい係』ですね。」

モンタ博士 「ピンポン。そのとおり。かんたんに言うと『校長先生係』なのだよ。」

オー君 「へえー。おもしろそうですね。」

花ちゃん 「どんなことをやるのですか。」

モンタ博士 「そうだね。その前に、『校長先生係』は、各クラス4～6人くらいで、学期ごとにかわるんだ。2年間あれば全員ができるようにしてるんだ。」

オー君 「よっしゃー！オー君もそのうちやりますね。」

花ちゃん 「花ちゃんもいっしょにやれるのを楽しみにしています。」

モンタ博士 「どんなことをするのかと言うとね、花の種まきや移植、花壇の整理や世話、池の魚や校長室前で飼っている生き物の世話等、いろいろと考えてるんだ。」

オー君 「ところで、上の写真は2年生みたいですが、何をやってるのですか。」

モンタ博士「ヒマワリをまいているんだ。^{たね}種を植えることは、どんな^{はな}花を咲かせてくれるか、いつ^さ咲いてくれるか、そんな^{たの}楽しみがいっぱいあっていいね。」

花ちゃん「そうですね。^{はな}花の色や^{いろ}形もいろいろだけど、^{たね}種にもいろいろな^{おお}大きさや^{かたち}形があることがわかりますね。^{した}下の写真は、^{しゃしん}ヒマワリとアサガオですね。」



オー君「アサガオの^{たね}種まきするなんて、^{ねんせい}1年生みたいだな。」

花ちゃん「そんなこと関係ないわよ。そんなきまりないわ。^{なんねんせい}何年生でもいいんじゃないの。」

モンタ博士「そうだね。^{なんねんせい}何年生でもかまわないよ。^{はな}花が^さ咲く^{たの}楽しみはみんながもてばいいのさ。むしろ、^{まいにち}毎日大^{おほいそが}忙^{はたら}しで働いている大人こそ、^{おとな}花の^{はな}種を^{たね}まいたりして、^{たの}楽しくわくわくドキドキすることがモンタ博士は大切だと思うけどね。」

オー君「はい。わかりました。^{はな}花の^{たね}種をまくぞ。^{はな}花いっぱいにするぞ。おや、ちょいと待てよ。^{はな}花は^{そだ}育てたいけど、^{たね}ぼく、種もってないよ。どうしよう。」

モンタ博士「そんな^{ひと}人のために、モンタ博士から^{はな}花の^{たね}種のプレゼントをしよう。」

花ちゃん「^{ほんとう}本当！うれしい！ありがとうございます。」

モンタ博士「^{みぎ}右の^{しゃしん}写真はコスモスの^{たね}種さ。^{きょねん}去年いっぱい咲いた後に、^{たね}種を取っておいたのさ。^{いま}今から^う植えると^{あき}秋にはきれいなお^{はな}花がいっぱい咲くよ。みんなにあげるから^{こうちょうしつ}校長室に取りにおいで、^{いま}今、^{じゅんび}準備中だから、^{らいしゅう}来週になったら^{ほうそう}放送するからね、^{たの}楽しみに^ま待っててね。」

